

枚方市と枚方市職員関係労働組合現業評議会との団体交渉の要旨

1. 日 時 令和5年(2023年)10月19日(木) 午後6時30分～午後7時40分
2. 場 所 枚方市役所 塔屋会議室
3. 出席者 組合側：書記長以下約15名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、維持補修課長、
書記（人事課課長代理、職員課課長代理）
4. 課 題 「要求書」に基づく交渉

<交渉内容要旨>

I. 労働協約の遵守について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 技能労務職員の勤務労働条件等の変更については、労働協約を遵守すること。また、諸課題への対応については、十分な協議を行うなど、一方的な変更は行わないことを改めて確認したい。	<ul style="list-style-type: none">・ これまで同様、遵守する立場に変わりはない。また、諸課題への対応は、事前協議等を行うことを基本とする。

II. 技能労務職員の採用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 現業職場では、職員の高年齢化が進み、年齢構成が歪になっている。知識や技術の継承の観点から、新規採用を考えてもらいたい。ごみ収集体制にかかる5か年計画が終了することや、現在の配置状況等を踏まえ、現業職の採用の考え方について見解を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・ 計画が来年度終了することに加え、各職場の状況や行革プランの進捗等を精査しつつ判断していく。

III. セーフティネットの観点からの人員体制について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 災害・感染症に対応するための全体の危機管理マニュアルはあるものの、コロナ禍では各職場でどのように対応するか判断するには内容が不十分であった。課を超えて助け合える体制をスムーズに構築するために、さらに踏み込んだマニュアルが必要だと考えるが、当局の見解を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害発生時等における各種業務の具体的な行動については、業務継続計画や被災状況、感染状況等を踏まえたうえで、各職場で適切に判断していくことが現実的だと考えている。

IV. 会計年度任用職員制度について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 正職員並みに働いている会計年度任用職員もいるが、給料や休暇等の処遇面では違いがある。何らかの改善ができないのか、見解を聞く。 また、法制度上難しいことは理解しているが、優秀な者を正職員に転換することはできないのか。 ・ 調理現場において、正職員と会計年度任用職員とで、貸与される調理用の被服が異なる。職種によらず統一すべきであると考えるが、当局の見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処遇面については、病気休暇の日数拡充など見直しを重ねてきており、今後も働きやすい職場環境の整備に向け、検討していきたい。 なお、正職員への転換は、法制度上不可能である。 ・ 勤務の時間・期間・内容等を考慮して貸与する被服を決定している。

V. 職員のモチベーション向上について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 班長への昇任者が極めて少ないと感じているが、2012年以降の昇任基準を満たす職員数と、そのうち実際に昇任した職員数をそれぞれ教えてほしい。 また、人事評価が高く、誰の目から見ても頑張っている職員が昇任できなかった事例もあった。現場が納得できる明確な昇任基準が必要だと考えるが、当局の見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昇任要件の該当者は18名で、そのうち3名が昇任している。 また、昇任者は、現業職に限らず、他の職においても、組織構成のバランスを鑑みたうえ、総合的に考慮し決定している。

VI. 転用制度について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現業職から事務職への転用制度について、班長以上の者又は入職10年以上の者を対象としているが、この期間を短縮するなど、柔軟な対応はできないのか。 また、試験制度について、例えば小論文を廃止するなど、簡素化し、職員の負担軽減することで、より利用しやすい制度とできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に対象要件を見直したことを踏まえ、現行どおりとする。

Ⅶ. 労働安全について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス不調で休む職員が多いと感じており、何らかの対策が必要である。また、出先職場の場合は、本庁の相談窓口まで出向くのはハードルが高いと思うので、より相談しやすい体制が必要だと考えるが、当局の見解を聞く。 空調が整備されていない調理現場では、火の使用や加熱による蒸気の発生により、真夏の外気温を超える温度や湿度になる。熱中症対策が必須だと考えるが、当局の見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から職場復帰の支援のためのしおりを作成するなど、各種取り組みを推進している。また、相談窓口については、メールや電話でも対応している。 本年8月にスポット的に冷機を送る空調機器を試行的に設置した調理場において一定の効果が得られたことから、今後、未設置の調理場に導入を予定している。

Ⅷ. 定年延長について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> 定年延長を迎えるにあたり、加齢に伴う身体機能の低下も想定される中で、誰もが安心して働き続けられる環境整備が必要だと考えるが、当局の見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務運営上において一律的な配慮は困難であるが、各職場において個々の配慮が必要な場合は対応に努めていきたい。

Ⅸ. その他

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> 現業職場において、年度途中で退職者が生じ、現時点でも補充されずに欠員が生じている職場がある。 業務運営に支障が生じないように、必要な人員を確保してもらう必要があるが、当局の見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 退職補充のため、会計年度任用職員の募集をしており、現時点では応募がないが、引き続き募集を継続していく。